



工作」では、はんだごてを使って電子工作をしたり、「ゆめプラ陶苑」では陶芸の絵付け体験や茶わん作りをしたり、手作り工作キットを使った「はや2タッチダウンでお菓子をゲット」や「UVビーズで見えない光を見よう」のコーナーなども人気を集めていました。



名古屋市立大学の小鷹研究室「ドキドキ♡ふしぎ錯覚体験コーナー」では、大人も子どもも、自分の体が自分のものじゃないような不思議な錯覚体験を楽しんでいました。



また、小さい子どもたちは、練習室いっぱい設置した大きなダンボール迷路で探検したり、芝生広場を駆け回ったりして遊びました。木陰に設置したハンモックや、モルック体験、おいしいたべもの屋さんも大人気でした。

館内に飾り付けた20年の歴史の展示も評判が良く、たくさんの方が興味深そうに眺めていました。2階に設置したメッセージツリーにも、たくさんの方がメッセージを書いてぶら下げてくれました。これらの館内装飾は、今年度いっぱい楽しめるようになっています。

ゆめたろうプラザは、20周年を機に、ますます楽しい事業の企画と新しいチャレンジを練り広げていきたいと思えます。

皆さん、また一緒に楽しみましょう！



はたち 20歳のゆめたろうプラザへ

初代事務長 **大岩利康さん**

ゆめプラ開館20周年おめでとうございます。私は当時武豊町役場の生涯学習課に勤務しており建設準備からオープンまで勤めさせていただきました。

オープンの2004年は、私は51才でしたが今では71才になり地域の区とか老人会で活動をしているお爺さんになっております。

建設準備の頃、その当時では一般的ではなかった「住民参加型の施設」を目指し「ワークショップ」を何回も重ねてまいりました。回を重ねるごとに参加者の皆さんから元気をもらい頑張ることができました。

オープンの頃は、ホールへのお客様の誘導とか舞台設営の準備、非常時の避難誘導等々、「NPOたけとよ」の皆さんを始め多くのボランティアの皆様の協力を得て乗り切ることができました。

あれから20年、立ち上げも大変ですが継続することはもっと大変です。

武豊町の施設ではありますがNPO法人武豊文化創造協会と共に今後とも町民との官民協働施設としての存続をお願いします。

私と共にオープン時に勤めていたT君は若くして交通事故で亡くなってしまいましたが、私と共に応援しておりますのでよろしくをお願いします。



NPOたけとよ 初代理事長 **櫻場敬信さん**

町民会館を作ろうという話が持ち上がった時、ワークショップなどにも参加して色々希望や注文を言っていたら、いつの間にか渦の中に巻き込まれていた。

運営方法を検討していた時、NPO方式を提案したこともあって、なんとなく理事長の役が回ってきてしまった。勤めていた会社も丁度退職する時期で、延長の話もあったのだが、周りのおだてや励ましに乘せられて理事長を引き受けしてしまった。

ワンマンなやり手の理事長より、何でもやってみようとする、提案は全てOKする理事長のほうが良いと、意外に評判は良かったように聞く。

思い返せば人も羨む経験をいっぱいしているのに、自分としては少しも成長していない気がする。理事長としての足跡といえるものを残すことが出来なかったのが残念だが、町の職員やNPOの仲間、地域の人たちやアーティストと一緒に、ここまで歩いて来られて楽しかったのだから、それで十分だと思っている。

